

野菜摂取補助制度の導入

日本ナレッジスペース株式会社

〒105-0004 東京都港区新橋6-20-1 ル・グラシエルBLDG.1 3F
従業員数:101～200名以下 URL:https://www.jpn-ks.co.jp/

情報通信業



自宅に届く野菜の様子

- ・ポイント①:ユニークな福利厚生で健康をサポート
- ・ポイント②:社員の家族にも波及効果を期待
- ・ポイント③:食品ロス削減にも寄与

取り組みの概要・目的

福利厚生として「野菜摂取補助制度」を導入！食品ロス削減にも寄与する取り組み

規格外野菜の定期配送サービス「ロスヘル」を採用し、毎月、社員の自宅に約5キロ(8～9品目)の野菜を宅配することで、お得かつ手軽に野菜を取り入れられる環境を整備しました。

社員の家族も含めた豊かな食生活をサポートに加え、食品ロス削減にも貢献できています。

実施の背景や課題

多忙な日々で疎かになりがちな野菜不足は、体調不良や集中力低下など、社員のパフォーマンスに直結する課題です。加えて企業としてSDGsへの貢献を目指す中で、食品ロス削減にも寄与できる仕組みを求めており、サービスの導入を決定し取り組みを開始しました。

取り組みの成果

購入実績(2025年)



定量的・定性的成果

- 利用率 全社員のうち60%以上
- 購入実績 約500kg/月
- 購入実績 通算 9トン以上
- 社内アンケートで、より野菜摂取したいとの要望を70名以上の社員からいただき、従来のSサイズだけでなく、Mサイズも選べるように福利厚生を拡充しました。

従業員の“声”

「元々野菜は得意ではなかったがロスヘルをきっかけに調理を工夫することで、今では野菜が好きになってきた」
「食事に偏りがあったが、ロスヘルをきっかけに自炊の頻度が増え、健康的な習慣が身につきました」

チャレンジしたことや創意工夫したこと

社会貢献と共感性の向上

単なる食費補助に留めず、フードロス削減やSDGsの価値を付与。野菜摂取が社会貢献に直結する実感を醸成し、制度への共感を高めます。

利便性の追求と健康習慣の定着

自動配送で選が手間を省き、レシピ同封で献立の悩みも解消。忙しい社員でも、自然に野菜を摂れる仕組みで健康経営を実現します。

連携先やリソース

●提携先

- ・ 利用サービス(ロスヘル)

●リソース

- ・ 企画:2026年6月 導入:2026年9月
- ・ コスト:年間約430万円以上

今後の展望

弊社は規格外野菜の活用を通じ、健康経営とSDGsを繋ぐ戦略を推進しています。今後は月間500kgの購入を継続し、社員の健康意識を高め、ベストなパフォーマンスを発揮できる環境づくりを加速させます。「社員の健康が食品ロスの解決に直結する」という循環モデルを深化させ、事業成長が地域社会や環境保護に貢献する、持続可能な企業像の実現を目指します。

いいね!コメント

社員の健康づくりを、社会課題の解決やご家族の豊かな食生活にもつなげている発想がとても素晴らしいです。健康経営を福利厚生にとどめず、企業の価値づくりとして実践されている点に時代性を感じます。社員への想いと社会への想いが両立した、これからの企業の理想を感じる好事例です。